

緊急時の支援体制整備事業

「緊急時の安心袋」の配布

一人暮らし世帯、高齢者世帯が年々増加してきております。こうした中、急病やケガなどに備え、救急隊員や近隣住民、民生委員などの情報源となる持病やかかりつけ医、緊急連絡先などを記入した所定のカードと併せ、入院時に最低限必要な洗面用具、下着類などを保管し、いざというときには迅速な対応ができるよう、社会福祉協議会では市の補助金等を活用し「緊急時の安心袋」を配布しております。

配布対象は、65歳以上の一人暮らし世帯、75歳以上のみの高齢者世帯となっております。配布された際は、所定のカード等に記入したり、入院用品（1日分程度）を袋に入れておくなど、有効的に活用していただきますようお願いいたします。

配布される物品と活用方法

① 緊急時の連絡票（縦59.5cm × 横42cm）

緊急時の連絡先記入票のイメージ。住所、氏名、電話番号、火事と救急、緊急時、連絡先、子ども、病院、親戚、近隣、民生委員などの項目があり、消防署119、警察署110などの緊急連絡先も記載されている。

緊急時に、誰でも連絡先が分かるよう、子ども、親戚、近隣の連絡先等を記入します。記入後は、電話の近くなど目のつきやすい場所に貼っておきましょう。

② 安心カード（縦29.5cm × 横21cm）

安心カードのイメージ。お名前、お住所、かかりつけの病院名、電話番号、今が持っている薬類、アレルギー、健康保険証番号などの項目があり、記入欄が用意されている。

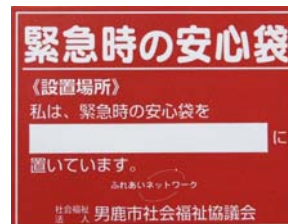
急病時など、救急搬送される事態が発生した場合に利用されます。持病、かかりつけ病院、服用している薬などを記入した後、同封のクリアケースに挟み、「緊急時の安心袋」に保管しておきましょう。

③ 設置表示ステッカー（縦7cm × 横9cm）



「緊急時の安心袋」が設置されている世帯であることをお知らせするステッカーです。救急搬送時消防署員等が確認できるよう、玄関扉の裏側などに貼付しておきましょう。

④ 保管場所表示ステッカー（縦7cm × 横9cm）



「緊急時の安心袋」の保管場所を知らせるステッカーです。寝室、仏間等保管場所を記入し、緊急時の連絡票の右下に貼付しましょう。

⑤ 緊急時の安心袋（縦30cm × 横40cm × 幅20cm）



緊急時、誰でも直ぐ持ち出せるよう、入院時に必要となる物を入れておきます。（1日分程度）

例として、タオル、バスタオル、タオルケット、下着類、洗面用具、はし、湯のみ茶碗、ティッシュペーパー、上履き（スリッパ）健康保険証の写しなどが考えられます。



問い合わせ
男鹿市社会福祉協議会
23-2772